

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	接着剤 ネジゆるみ止め用 高強度
会社名	株式会社MonotaRo
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX 番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M250311

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	急性毒性（経皮）	区分 4
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分 4
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分 4
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	目に対する重篤な損傷／目刺激性	区分 1
	生殖毒性	区分 1 B
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	
	血液系、呼吸器	区分 2
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 3
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害 (H302)
皮膚に接触すると有害 (H312)
皮膚刺激 (H315)
重篤な眼の損傷 (H318)
吸入すると有害 (H332)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
長期にわたる又は反復ばく露による血液系、呼吸器の障害のおそれ (H373)
水生生物に有害 (H402)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

直ちに医師に連絡すること。(P310)

特別な処置が必要である。(P321)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)

廃棄

内容物/容器を 都道府県/市町村の法令・規則にしたがって廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性 情報なし

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

			官報公示整理番号	含有量
成分	化学式	CAS 番号	(化審法・労安法)	wt%
アクリレート、樹脂、硬化促進剤	非開示	非開示	非開示	90～100
1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド	C ₉ H ₁₂ O ₂	80-15-9	(3)-1014	2.4
メタノール	CH ₄ O	67-56-1	(2)-201	0.7

成分の含有量について、企業秘密であるものは範囲で記載。

4. 応急処置

吸入した場合

: 新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静に保つ。速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

: 水と石けんで洗う。汚染された衣服を脱ぐこと。

眼に入った場合

: 清浄な水で最低 15 分間注意深く洗浄した後、すぐに医師の手当を受ける。コンタクトレンズ装着時、容易に外せる場合は外すこと。

飲み込んだ場合

: 口をすすぐこと。ただちに、医師の手当を受ける。

応急処置をするものの保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

: 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤

: 棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。

火災時の措置に対する特有の危険有害性

: 刺激性の有機蒸気 炭素酸化物 硫黄酸化物 窒素酸化物

特定の消火方法

: 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

消火を行う者の保護

: 消火作業の際には呼吸用保護具を着用する。消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業者は適切な保護具を着用し、目、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

: 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び基材

: ポリエチレン製手袋を着用し、少量の場合、乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて、密閉可能な空容器に回収する。大量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止

: すべての着火源を速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 火気注意、保護具の着用。臭気が滞留しないように局所排気装置の設置、全体換気を適正に行う事が望ましい。
安全取扱い注意事項	: 火気注意
接触回避	: 皮膚に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
衛生対策	: 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔をよく洗う。
保管	
安全な保管条件	: 湿気の少ない冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。 : 保管の際、容器を移し替えないこと。 容器から一旦出したものを中に戻さないこと。
8. 暴露防止及び保護措置	
設備対策	: 局所排気装置などの換気設備を設置する。
管理濃度	: 未設定
許容濃度	: 未設定
保護具	
呼吸器の保護具	: 作業用簡易マスクを着用する。
手の保護具	: ポリエチレン製手袋を着用する。
目の保護具	: 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じポリエチレン製前掛けなどを着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
外観(形状)	: 液体
外観(色)	: 赤色
臭い(臭いの閾値)	: 特異臭
pH	: 知見無し
融点・凝固点	: 知見無し
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 知見無し
引火点	: >100℃
蒸発速度	: 知見無し
燃焼性	: 知見無し
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 知見無し
蒸気圧	: < 5 mm hg (27 ° C)
蒸気密度	: 知見無し
比重	: 1.1 g/cm ³
溶解性(水)	: 不溶
オクタール/水分配係数	: 知見無し
自然発火温度	: 知見無し
分解温度	: 知見無し
10. 安定性及び反応性	
反応性	: 直射日光や熱により自己重合を起こすことがあり、温度の上昇により暴走反応を生ずることがある。
化学的安定性	: 高温・高湿・直射日光により、発熱を伴い、急速に重合する事がある。
危険有害反応可能性	: 水や塩基性化合物との接触、混入により、反応する。
避けるべき条件	: 湿気、火気、直射日光、高温
混触危険物質	: 塩基性化合物
危険有害な分解生成物	: 知見無し
11. 有害性情報	
急性毒性(経口)	: 製品としてデータなし
皮膚腐食性/刺激性	: 製品としてデータなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 製品としてデータなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 製品としてデータなし
生殖細胞変異原性 : 製品としてデータなし
発がん性 : 製品としてデータなし
生殖毒性 : 製品としてデータなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露 : 製品としてデータなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露 : 製品としてデータなし
誤えん有害性 : 製品としてデータなし

12. 環境影響情報

生態毒性 : 製品としてデータなし
残留性・分解性 : 製品としてデータなし
土壤中の移動性 : 製品としてデータなし
オゾン層への有害性 : 製品としてデータなし

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理をおこなっている場合はそこに委託して処理する。
本製品を含む廃液、洗浄廃水を直接河川等に排出したり、そのまま埋設、投棄してはならない。
使用済みの容器、ウェス等も残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

注意事項 : 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、

液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。

国内規則

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

応急措置指針番号 : 128

国際規制

国連分類 : 分類基準に該当しない。

国連番号 : 分類基準に該当しない。

IMO : 該当しない

IATA : 該当しない。

15. 適用法令

消防法 : 危険物第4類第3石油類 非水溶性

化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド

労安法 : 名称を通知すべき有害物 (メタノール)

労働安全衛生規則 : 第594条の2 第1項 皮膚等障害化学物質等

毒劇法 : 該当しない

16. その他の情報

引用文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果データベース (Ver. 6.0)

国際化学物質簡潔評価文書 (CICAD)

国際化学物質安全性カード (ICSCs)

一般社団法人日本化学工業協会発行「GHS 対応ガイドライン」(2019年6月)

その他記載事項について

・記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

- ・全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。
- ・この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正される事が有ります。
- ・以前に収得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄してください。